

平成30年度進捗評価シート
桑折町歴史的風致維持向上計画（平成28年3月28日認定）
（最終変更平成31年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観行政団体への移行と景観計画策定	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡桑折西山城跡等整備事業	3
2 史跡桑折西山城跡等周辺の誘導路及び駐車場整備事業	4
3 大榎遺跡(万正寺の大カヤ)周辺整備事業	5
4 桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業	6
5 屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業	7
6 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業	8
7 歴史・文化財学習講座事業	9
8 歴史案内人育成事業	10
9 小中学生の認識向上推進事業	11
10 桃源郷周遊型イベント支援事業	12
11 周遊性向上・案内板等整備事業	13
12 桃源郷周遊性向上事業	14
13 多言語周遊型観光パンフレット作成事業	15
14 文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業	16
15 地域の文化遺産の調査及び継承支援事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など	18
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など	19
3 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 「明治維新企画展始まる」他	21
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光入込客数の推移について	22

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	23
--------------------------------	-----------

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成30年度
計画実施のための組織体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

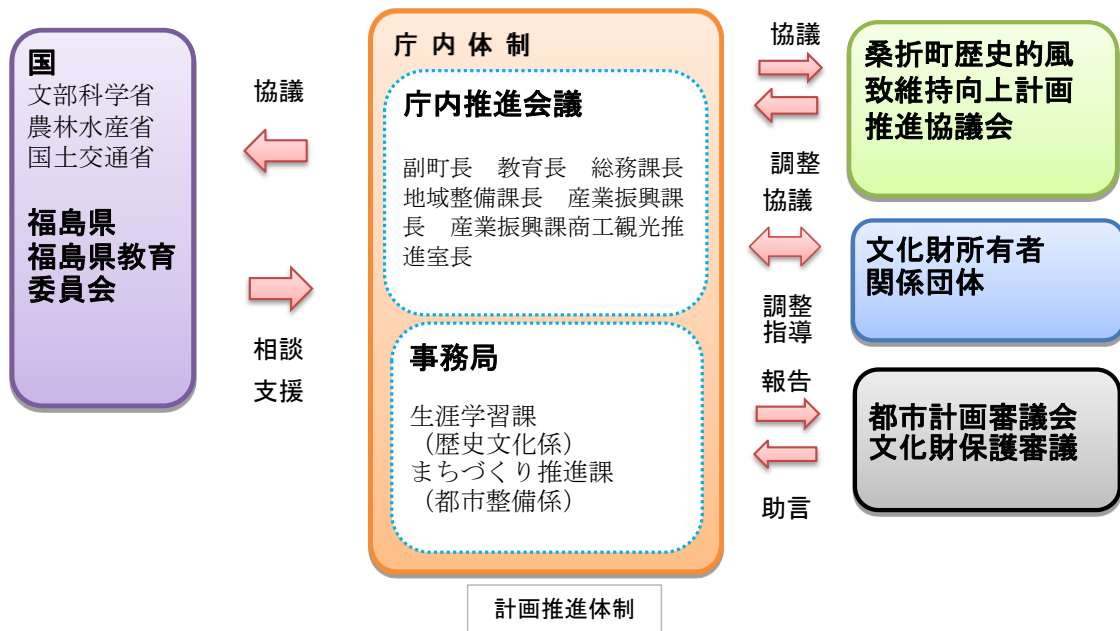
計画に記載している内容
計画を管理する生涯学習課・まちづくり推進課が事務局となり、計画策定時と同様に関係各課で構成する「庁内推進会議」にて連絡調整を行う。また、国や県の関係機関と協議を行い、適切な支援を得る。桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画推進や変更、事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進する。必要に応じ、都市計画審議会や文化財保護審議会、文化財所有者、関係団体などと連絡・調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

まちづくり推進課都市整備係と生涯学習課歴史文化係が事務局として、庁内推進会議で事業の実施に係る調整、情報収集、進捗管理を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	庁内体制の中で、担当課の連携を密にし、事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等



組織の変更
平成30年度～ 生涯学習課とまちづくり推進課が事務局となり体制を強化

会議の状況
庁内推進会議 平成30年2月19日
文化財保護審議会 平成30年5月10日
桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会 平成30年4月18日
各事業における打ち合わせ等は随時



平成30年4月18日
桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度
	現在の状況	
景観行政団体への移行と景観計画策定	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

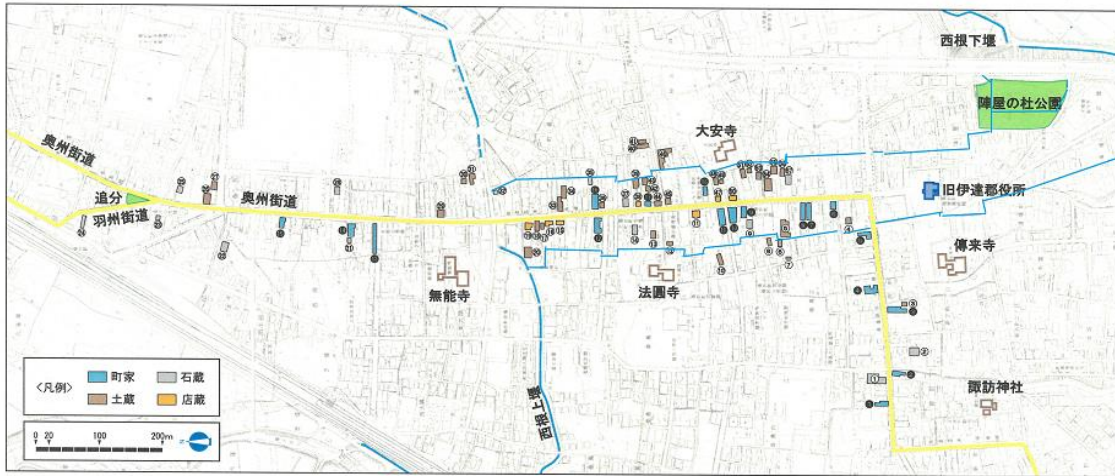
計画に記載している内容 福島景観計画に沿った規制を行う。また、重点区域内における建築物や工作物の建築・色彩の変更、開発行為その他の土地の形質の変更など一定の行為の制限に、自然と歴史的風致が一体となった良好な景観が形成されるよう町独自の制限を追加するため、景観行政団体への移行と景観法に基づく町独自の景観計画の策定を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建造物修景、屋外広告物改修に対する助成事業を都市再生整備計画に盛り込んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業がある程度進んだ段階で、景観計画の策定や景観行政団体への移行を検討したい。

状況を示す写真や資料等



桑折宿の歴史的建造物調査成果と街道、西根堰



歴史的建物の調査範囲

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
史跡桑折西山城跡等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成9年度～令和2年度		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業(文化庁国庫補助事業)		
計画に記載している内容	来訪者が戦国時代の山城を体験的に学習し、かつ、城跡からの眺望や自然を楽しみながら憩うことができる場所として、堀・土塁・大手道などの復元や遊歩道の整備、樹木の伐採、伊達氏関連遺跡の解説も含めたガイダンス施設設置などの整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
30年度実績 本丸遺構工事(敷地造成, 表門跡表示, 裏門跡表示), 施設整備工事(本丸・二ノ丸連絡通路, 平場内園路, サイン施設) 砲台場遺構保護盛土工事 1,055.0㎡, 中館・西館間仮設土橋盛土工事 676.0㎡, 中館・西館樹木伐採工事 本数 232本			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	中館・西館や史跡周辺は段階的に整備をしていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
本丸全景 工事施行前		本丸全景 工事施工後	
			
本丸 建物遺構 整備後	本丸 表門遺構 整備後	本丸・二ノ丸連絡通路 整備後	
			
中館・西館 樹木伐採前	中館・西館 樹木伐採後		

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
	現在の状況	
史跡桑折西山城跡等周辺の誘導路及び駐車場整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 史跡桑折西山城跡への道は未舗装となっており、整備が行き届いていない。史跡付近に広い駐車場が無く、アクセス道の道幅は狭いため、バスや大型の車で来訪に対応できないことから、桑折西山城跡整備事業に合わせて町道の改修と駐車場の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

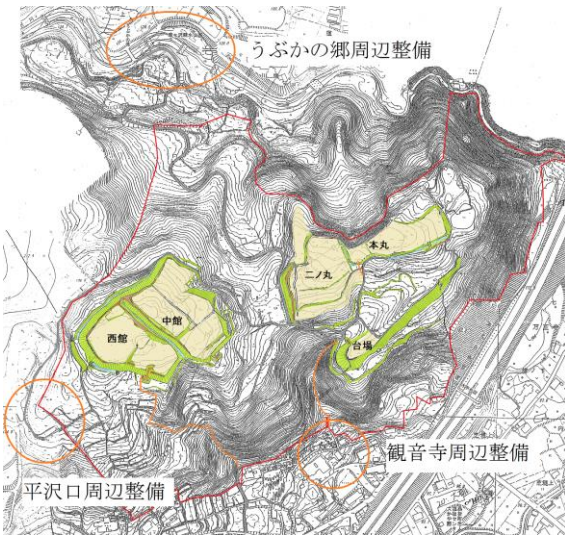
史跡桑折西山城跡の史跡指定地内外を結ぶ園路、進入路、案内標示等の整備については、平成30年度に策定した「都市再生整備計画」に盛り込んだ。令和2年度から事業を実施する予定。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

町道や駐車場の整備については、既存施設の活用を含め、整備方法を検討する。

状況を示す写真や資料等



桑折西山城跡周辺整備箇所

平沢口の現況



桑折西山城跡大手道(観音寺墓地東側)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
大榎遺跡(万正寺の大カヤ)周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 桑折西山城跡への大手道の手前に位置する大榎遺跡は、伊達氏関連の遺跡であるとともに、伊達氏関連の言い伝えが残る福島県指定天然記念物「大カヤ」がある。史跡桑折西山城跡の整備に併せ、伊達氏関連遺跡の一つとして、また、城跡へのアプローチの際の休憩場所として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

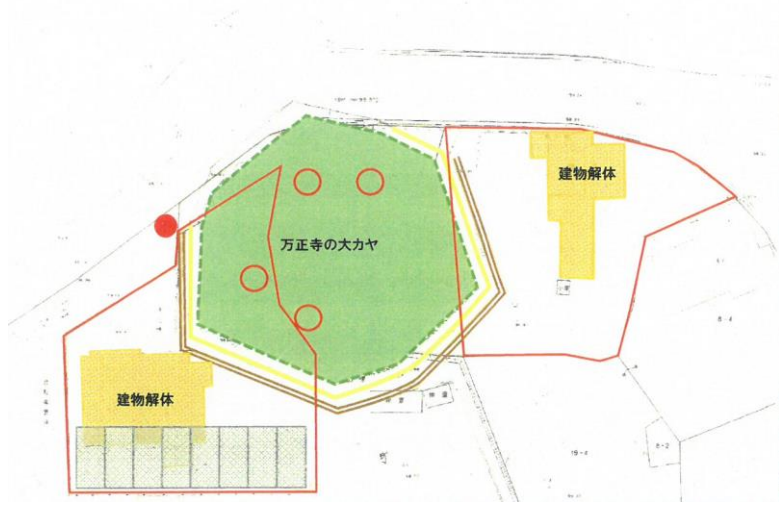
福島県指定天然記念物「大カヤ」の枝張りの傘下の民有地を大カヤの保護のため町有地として取得し、周辺を整備する方針を決定し、都市再生整備計画に盛り込んだ。31年度には土地の公有化を目指し、土地の不動産鑑定や所有者との交渉を行う予定。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

樹勢が拡大してきている大カヤの保護を第一に考えながら周辺整備を進めていきたい。

状況を示す写真や資料等



万正寺の大カヤ周辺整備計画図
カヤの周囲に遊歩道や進入防止柵を設置



福島県指定天然記念物 万正寺の大カヤとその周辺の現況

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
	現在の状況	
桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 桑折宿内に残っている歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物について、修理・修景する際の費用の一部を助成し、定期的に一般に公開する。また、未指定の歴史的建造物についても、街道に面している部分を修景する場合の費用の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧蚕糸工場庭園の公園整備
 歴史的建造物の調査成果に基づき、解説板、案内板の設置個所を検討し、計画化した。
 歴史的建造物等改修助成事業の計画化

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

修景補助の実施予定年度(令和3年度～)に遅滞なく事業を行えるよう準備にあたる。

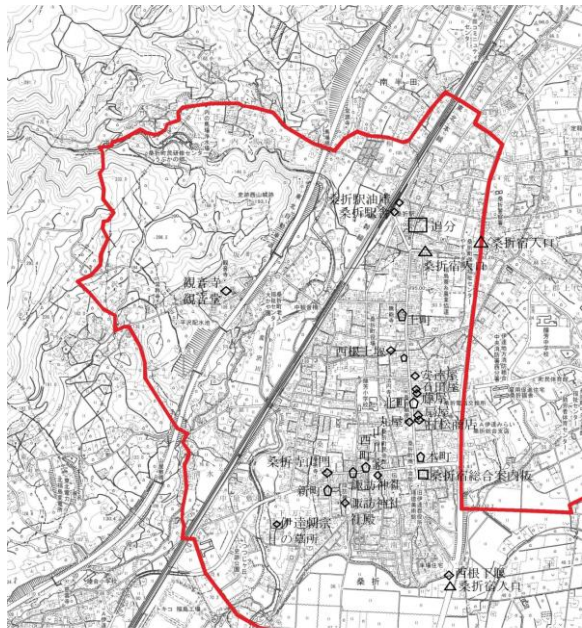
状況を示す写真や資料等



旧福島蚕糸工場庭園を整備した「桑折町蚕糸記念公園」



歴史的建造物の旧安達屋。周辺のブロック塀等の修景が望まれる



- 案内板
- 標柱
- 歴史的風致形成建造物解説板
- 誘導案内板

案内板設置計画図

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内の歴史的風致を形成する建造物等の周辺に存在する屋外広告物のうち、歴史的風致の風情を阻害する屋外広告物を周辺景観に配慮したものに改修する場合、費用の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
調査成果をふまえて修景する範囲・方法を都市再生整備計画に盛り込んだ。旧伊達郡役所正面の門扉と柵を、明治時代の姿に再現するため検討を開始した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成30年度に策定した都市再生整備計画をふまえながら事業を進めて行く。		

状況を示す写真や資料等



桑折町商工会
旧奥州街道沿いの景観に配慮して建てられた



桑折町蚕糸記念公園
町の発展に寄与してきた養蚕業の景観を次世代に伝えるために、町が整備



先行して電線地中化された旧伊達郡役所前の景観
門扉や柵の従来の姿を再現できないか検討に入った



明治後期～大正のころの郡役所
木製の扉と柵が廻る

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目			現在の状況
歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	歴史や文化財を活かしたまちづくりや街並みや桃源郷の風景などの景観の維持・向上に関する住民向けの講演会やシンポジウムを開催する。また、史跡桑折西山城跡の完了後、「全国山城サミット連絡協議会大会」の誘致を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年10月2日～平成30年12月16日 桑折町種徳美術館企画展「桑折町の仏教文化」 平成30年11月25日 歴史まちづくり講演会開催(119名参加) 平成30年11月27日～平成30年12月2日 桑折町種徳美術館企画「ペンで書いてみよう!写経・写仏体験」(28名参加)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	より理解が深まるよう、種徳美術館や旧伊達郡役所で、歴史まちづくり講演会のテーマと連動した内容の企画展を開催する。また、全国山城サミット大会の誘致に向けて準備を進めて行く。		

状況を示す写真や資料等



平成30年11月25日
歴史まちづくり講演会 (119名参加)

「桑折町の遺跡-川原田遺跡・新宿遺跡の発掘調査」
 「無能上人の生涯」
 「『孝子善之丞感見の曼荼羅』の絵解き」



平成30年11月27日～平成30年12月2日
桑折町種徳美術館企画「ペンで書いてみよう!写経・写仏体験」(28名参加)

桑折の仏教美術が
種徳美術館に
結集

献上桃の郷
桑折町歴史まちづくり事業

企画展
桑折町の
仏教文化

没後三〇〇年
無能上人

平成30年10月2日～12月16日
桑折町文化記念館
桑折町種徳美術館 桑折町字種徳12
開館時間 9:00～17:00(最終入館 16:30)
休館日 毎週月曜・祝日の翌日
(月曜が祝日の場合はその翌日)
入館料 大人200円
主催 桑折町・桑折町教育委員会・桑折町文化記念館
桑折町文化財保存会
後援 福島民報社・福島民友新聞社・河北新報社
協力 桑折町文化財保存会・鶴岡市・無量寺・聖徳寺・松原寺
お問い合わせ 桑折町文化記念館 0242-962-3807
桑折町生活支援課 0242-962-3129

講演事業
歴史まちづくり講演会
平成30年11月25日(日)13:30
イコーゼにて開催

平成30年10月2日～平成30年12月16日
桑折町種徳美術館 企画展「桑折町の仏教文化」

歴史まちづくり講演会では、企画展の展示物について解説を行った。
 企画展と歴史まちづくり講演会との相乗効果で、理解を深められたと参加者から好評だった

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
歴史・文化財学習講座事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	本町の歴史的風致への理解を求め、地域住民を対象に本町の歴史や文化財に関する学習講座を開催する。また、桑折町文化財保存会と連携しながら町内の小・中学生を対象に出前講座や現地説明会等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年4月21日「桑折歴史散歩」 平成30年7月12日「半田銀山について」(小学生対象) 平成30年9月8・9日、10月17・25日、11月10・11日、12月8日「伊達氏ルーツと桑折宿探索ツアー」(町商工会主催事業に対する後援) 平成30年11月25日「歴史まちづくり講演会」(桑折町文化財保存会との共催事業)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致への理解が深まるような講座を開催できるよう、文化財保存会や学校と連携しながら「桑折町歴史案内人」を活用し事業を実施していきたい。		
状況を示す写真や資料等			



桑折歴史散歩第5弾「桑折西山城を落とす！」
平成30年4月21日 参加者25名



「半田銀山についての学習」
平成30年7月12日 釀芳小5年生に桑折町歴史案内人が半田銀山について説明



桑折町文化財保存会と共催
歴史まちづくり講演会 平成30年11月25日 参加者119名

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
歴史案内人育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和2年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	本町を訪問する観光客や小中学生の児童・生徒に対し、本町の歴史や伝統文化、町並み、観光スポットなど本町の魅力について語ることができる人材を育成するため、案内人の養成・研修を目的とした講習や現地視察等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的背景の説明や観光案内ができる歴史案内人を育成するため、町民を対象とした「桑折町歴史案内人育成講座」を開催した。講座修了者に修了証を交付し、「桑折町歴史案内人」に登録してもらった。 前期: 4月21日 第1回「戦国の山城 桑折西山城を訪ねて」(14名参加) 5月9日 第2回「江戸時代の桑折町」(19名参加) 6月9日 第3回「桑折宿と西根堰」(12名参加) 7月4日 第4回「半田銀山の歴史」(19名参加) 後期: 12月1日 第1回「半田銀山を訪ねて」(19名参加) 1月16日 第2回「西根堰」(18名参加) 2月20日 第3回「歴史案内の方法」(14名参加) 3月6日 第4回「桑折西山城を案内する」(13名参加)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史案内人育成講座を継続して開催し、今後も引き続き人材を育成していく。受講者には歴史案内人に登録してもらうよう働きかけ、登録者を増やし案内人活動を盛り上げていきたい。		

状況を示す写真や資料等



歴史案内人育成講座 平成30年6月9日
 前期 第3回「実地講座2 桑折宿と西根堰」参加者12名
 29年度講座の修了生でもある桑折町歴史案内人が講師を務めた



歴史案内人育成講座 平成30年7月4日
 前期 第4回「桑折町の歴史2 半田銀山の歴史」
 参加者19名



平成30年5月12日
 桑折町歴史案内人認定式。12名が歴史案内人として活動を開始



平成30年6月28日
 桑折町歴史案内人が発足後、初めてお客様を案内

平成30年度
 桑折町歴史案内人の活動実績
 (団体からの依頼分)

案内した団体数 11団体
 延べ262名

(この他、歴史案内人育成講座の講師や他団体企画イベント等でも歴史案内人が活動した)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
小中学生の認識向上推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	町内の小中学校と協力しながら、後世への伝承者である小中学生に本町の歴史や文化遺産に関する知識を持ってもらうため、桑折町を総合的にかつ分かりやすく説明する教材を作成するとともに、桑折町文化財保存会やボランティアガイドと連携し、実地説明を行うなど、子供たちが体験しながら学べるような授業を開発する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
町内小中学校の学習に町歴史案内人や学芸員を派遣して歴史学習や史跡案内を行った。 ・平成30年5月8日 釀芳中学校2年生社会科見学事前学習「伊達氏の歴史」、平成30年7月12日 釀芳小学校総合学習「半田銀山について学ぶ」、平成30年12月11日 睦合小学校「地元の文化財桑折西山城跡見学」 中学生の全学年に「桑折学のすすめ」を配布して活用を促している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	学校側と連携し、歴史案内人を活用しながら小・中学生の学習機会を増やしていきたい。		

状況を示す写真や資料等



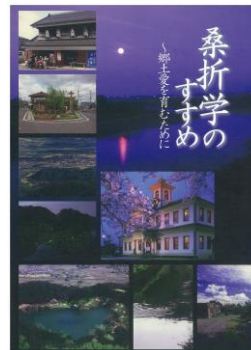
平成30年7月12日 「釀芳小学校総合学習」半田銀山について学ぶ
 桑折町歴史案内人が講師となって小学5年生に半田銀山の歴史について、地元の文化財旧伊達郡役所を教室に学習



平成30年12月11日 「睦合小学校」地域の文化財、桑折西山城見学
 校区の文化財を学習するため、小学生に地元睦合地区の方と町学芸員が史跡整備が進む山城跡を案内



平成30年5月8日 「釀芳中学校社会科見学事前学習」
 社会科見学で仙台市博物館を訪問する事前学習で町学芸員が伊達氏の歴史について解説



桑折学のすすめ～郷土愛を育むために

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
桃源郷周遊型イベント支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～平成31年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	阿武隈川氾濫原の果樹畑(桃源郷)周辺で花が咲いている時期や実が成る時期に行うイベントに対して支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
昨年度に引き続き果樹畑周辺でのイベント「献上桃の郷BBQフェス 2018」を行った。町内外から約800名が参加した。 阿武隈川春のサイクリング 4月21日開催 桑折町の桃源郷ポケットパークを折り返し地点に福島市御倉町から30kmのサイクリング。 平成30年9月1日 献上桃の郷西根堰ふるさとウォーク(町、伊達西根堰土地改良区、福島民友新聞社主催) 西根堰10kmコースで阿武隈川氾濫原の桃畑と伊達崎地区の西根堰沿線を歩く 約500名参加			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		花の時期、桃の収穫期以外の誘客と、桑折町農業活動拠点施設「レガール」との連携した事業が必要である。	
状況を示す写真や資料等			



こおり桃源郷BBQフェス2018 ポスター



こおり桃源郷BBQフェス 参加者約800名
おいしいバーベキューを桃源郷で 桃の花を堪能



阿武隈川春のサイクリング事業 参加者約100名
桃の花が咲く時期に、福島市をスタート・ゴールとして、桑折町伊達崎地区の桃源郷「桃の郷ポケットパーク」を折り返し地点とした30kmのコース



西根堰ふるさとウォーク 参加者約500名
10kmコースは、伊達崎地区の西根下堰と「桃源郷」「阿武隈川サイクリングロード」を歩く

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
周遊性向上・案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 町民や来訪者が、歴史的建造物や文化財等を楽しみながら効率よく巡ることができる散策ルートを検討・設定する。併せて、今後作成する案内板等の作成基準となる統一デザインを定めるとともに、散策ルートに合わせた案内板や案内標識、説明板の新設や更新を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

老朽化し文字が見えなくなっていた看板の塗り替えを行った。(2件)
 桑折西山城跡のサイン整備に「歴史の小径」のデザインを合わせた案内標示を設置。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない 案内板の維持管理をしながら利用できるものは引き続き利用していく。

状況を示す写真や資料等



郵便ポスト解説板 (修繕前)



郵便ポスト解説板 (修繕後)



旧伊達郡役所解説板 (修繕後)



史跡桑折西山城跡の案内標示
 小径の案内標示と統一デザインで設置

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
桃源郷周遊性向上事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 阿武隈川氾濫原の果樹畑(桃源郷)を印象的に体験できる周遊ルートの検討や案内看板の設置、駐車場・展望スペースなどの周辺環境の整備など、阿武隈川とも一体となった桃源郷の周遊性の向上を図る事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「こおり桃源郷」を望む舞台・阿武隈川を軸に、まちとかわを結ぶ多様な交流活動を展開し、近隣市町からのアクセス・連携を強化し、まちとかわの回遊・体験空間を形成することを目指して「桑折地区かわまちづくり計画」の登録を申請し、平成30年3月26日に登録された。30年度は、住民からの要望ニーズを集約するため「かわまちづくり検討委員会」を開催した。都市再生整備計画を作成し、平成31年度から令和5年度までの整備計画を示した。また国土交通省でも平成31年度から令和5年度に掛け、桃源郷周辺の河川の整備を予定している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

回遊・体験に訪れる方々を現地に引き込む案内表示や導線づくり、活用・維持管理について関係団体との連携や協力といった体制づくりをしていきたい。今後、整備した施設の利活用、維持管理には地元住民の協力が必要となる。

状況を示す写真や資料等



「桑折地区かわまちづくり計画」の実施事業 平成30年3月26日登録



平成31年2月6日
桑折地区かわまちづくり検討委員会

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

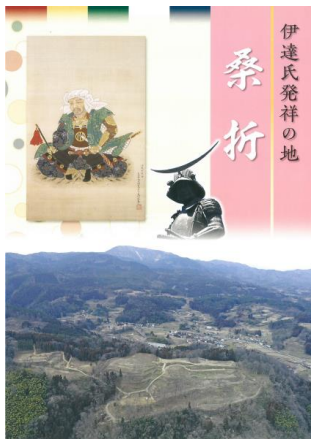
		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
多言語周遊型観光パンフレット作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～平成31年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な町並み、文化財の分布、町の歴史などを網羅し、それらを堪能できる散策ルート等を紹介するパンフレットを作成する。なお、パンフレットは英語、中国語などの多言語のバージョンも併せて作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
桑折町のシンボルとなっている重要文化財『旧伊達郡役所』の英語表記パンフレットを作成した。町内の伊達氏関連史跡や歴史を紹介する「伊達氏発祥の地 桑折」パンフレットを改訂した。桑折町の町並みを散策できる観光パンフレットを新しく作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	外国人の来町状況を把握し、ニーズに合わせた内容や言語でパンフレットを作成したい。		
状況を示す写真や資料等			



旧伊達郡役所を紹介するパンフレットを英語版で作成



旧伊達郡役所で英語表記パンフレットを手取る来館者



パンフレット「伊達氏発祥の地 桑折」を改訂



観光パンフレットを作成

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和42年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	文化財等の保存・活用に関わっている団体や歴史を活かしたまちづくり団体と連携しながら、本町の歴史や文化財等の啓発を行う活動や後継者育成のための事業などの支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
補助対象: 文化財保存会(町と共催で「歴史まちづくり講演会」を開催)、桑折町祇園ばやし振興会 (2団体、2件) 町商工会主催 伊達氏ルーツと桑折宿探索ツアー事業 歴史案内人、町学芸員が支援 「献上桃の郷西根堰ふるさとウオーク」(桑折町、伊達西根堰土地改良区、福島民友新聞社主催)の歴史を学びながら歩く「まなぶん6kmコース」への支援			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	関係団体とさらに連携を密にしながら活動や事業の支援を進めていきたい。		

状況を示す写真や資料等

伊達氏ルーツと桑折宿探索ツアー「伊達氏本城西山城と伊達五山」
 平成30年9月8日(土) 参加者25名 平成30年9月9日(日) 参加者10名 平成30年10月17日(水) 参加者21名
 平成30年10月25日(木) 参加者29名 平成30年11月10日(土) 参加者26名 平成30年11月11日(日) 参加者25名
 平成30年12月8日(土) 参加者21名



桑折宿の歴史的建造物で郷土料理振舞い



桑折西山城跡からの眺望を楽しむ



「献上桃の郷西根堰ふるさとウオーク」(西根堰ウオーク 実行委員会主催)
 選奨土木遺産西根堰を巡るまなぶん6kmを文化財保存会と連携して案内



桑折町歴史まちづくり講演会を桑折町文化財保存会と共催で開催
 文化財保存会長のあいさつ

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
地域の文化遺産の調査及び継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	調査:平成28年度～令和2年度 継承支援:平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	町内には詳細な調査・研究がされてこなかった歴史的建造物や文化財、祭礼などの文化遺産が多く残っている。それらの総合的な把握と記録保存などの学術的な調査を行い、データベース化を図る。併せて、活動ができるよう、伝統的な用具や衣装の修繕や担い手育成などの活動に対して、調査に基づく支援を適正に行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
町指定文化財の堰東京都祇園囃子を含む桑折町祇園ばやし振興会事業を支援した。桑折町種徳美術館企画展「桑折町の仏教文化」に先立ち、観音寺、宝積寺、無能寺の未指定の資料を調査した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も未調査の文化財を調査、記録し、支援を継続する。		

状況を示す写真や資料等



桑折町祇園ばやし振興会事業を支援
桑折町総合文化祭に出演して祇園ばやしを披露



企画展「桑折町の仏教文化」に先立ち寺院の什物を調査
無能寺の仏像群

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
	現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 これまでの調査・研究を活かし、現状及び実態の把握に努め、リストアップしデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、指定に向け取り組む。歴史的建造物については、以前の調査結果を活用しながら、調査を行う。祭礼や伝統行事などの無形民俗文化財について、次世代に残すために調査・記録保存をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

種徳美術館企画展のため、無能寺ほか寺院所蔵の資料・美術品を調査した。
 旧家の古文書について資料を整理し目録化した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後も未調査の有形文化財の調査や、民俗文化財の調査・記録保存を継続する。整理し、目録化した古文書の公開できるような体制づくりをする。

状況を示す写真や資料等



無能上人没後300年を記念し、門外不出とされてきた無能寺什物を調査



美術品・資料を桑折町種徳美術館企画展「桑折町の仏教文化」で公開



整理され、目録化された古文書(阿部達雄家文書)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
	現在の状況	
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財の修理や整備にあたっては、法令に基づき、また、文化庁等の関連機関の指導を受けつつ実施する。民間所有の文化財の修理にあたっては、補助金等の支援を行い、各種財団等の補助制度の活用を助言を行う。文化財周辺の整備は、当該文化財や周辺環境との調和のとれたものとする。防火対策は、法令に基づいた適切な予防対策をとり、文化財防火デーの取り組みなどで文化財保護への関心を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡桑折西山城跡では、文化財に親しむ取り組みとしてボランティア草刈りを行い、地元企業や町民が多数参加した(約90名)。また、野生のイノシシ等による被害を防ぐため、地元町内会と連携し、防護柵を設置した。文化財防火デーの取り組みとして、消防署や消防団と協力し、重要文化財「旧伊達郡役所」で防火訓練を行った(参加者150名)。文化財所有者に対し、盗難等への注意喚起をし、防犯対策の強化をお願いした。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

地元住民の文化財に対する深い理解と多大なる協力のおかげで実施できている取り組みである。今後も継続して取り組んでいきたい。

状況を示す写真や資料等



史跡桑折西山城跡草刈ボランティア
 地元住民や企業など約90名が参加

文化財防火デーに合わせ重要文化財旧伊達郡役所で防火訓練を実施 (平成31年1月20日 参加者150名)



消防団員と消防署員による放水訓練



文化記念館職員や地元住民が消火器による消火訓練を体験

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 桑折西山城跡等の文化財について歴史講座を開催したり、歴史や文化財を活用したイベントなどを行い、認識を深める。パンフレットやマップ、案内板、ボランティアガイドなどを充実させる。文化財保護団体や伝統芸能団体への支援を行い、活発な活動を行えるようにする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

選奨土木遺産「西根堰」の開削400年を記念し、旧伊達郡役所で「西根堰展」を開催した。11月には福島民友社主催「西根堰ふるさとウォーク」の後援をした。単発ではなく複数の講座や展示、イベントを連動させることで、理解をより深めてもらうことができた。10～12月は種徳美術館企画展「桑折町の仏教文化」を開催し、11月に関連テーマで歴史まちづくり講演会を開催した。文化財を保護しつつ活用するため、11月に重要文化財「旧伊達郡役所」を会場とした「郡役所カフェ」を開催し、来訪者を対象に「旧伊達郡役所ガイドツアー」を実施。郡役所カフェ開催日は「東北文化の日」で種徳美術館企画展「桑折町の仏教文化」が観覧無料のため来訪者も多く、好評を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成30年度から活動を開始した歴史案内人制度を広く周知し、活用してもらえるよう体制を強化していく。

状況を示す写真や資料等



歴史まちづくり講演会
 「桑折町の遺跡-川原田遺跡・新宿遺跡の発掘調査」
 「無能上人の生涯」
 「『孝子善之丞感見の曼荼羅』の絵解き」
 平成30年11月25日 参加者119名



種徳美術館企画展
 「桑折町の仏教文化」
 平成30年10月2日～12月16日
 来館者718名



「ペンで書いてみよう！
 写経・写仏体験」
 「桑折町の仏教文化」展に合わせ
 てワークショップを開催
 平成30年11月27日～12月2日
 参加者28名



西根堰ふるさとウォーク
 平成30年9月1日 参加者約500名
 まなぶんコースで歴史を学ぶ



「(献上桃の郷)魅力発信プロジェクト
 旧伊達郡役所カフェ」
 平成30年10月27・28日 来場者約400名

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
明治維新企画展始まる	平成30年4月17日	福島民報
「桑折西山城跡」愛好家ら楽しむ	平成30年4月25日	福島民報
人気歌手らステージ 桑折 きょうまで満福まつり	平成30年8月18日	福島民友
桃スイーツや演奏楽しもう	平成30年10月19日	福島民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地元紙にイベントや企画展を取り上げられることで、広く周知することができた。報道によって町内外から多くの参加者を呼び込むことができ、桑折町の歴史と文化に触れてもらう機会が作れた。最近では史跡桑折西山城跡に対する問合せが増えている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	地元紙の読者が記事を読んで講座やイベントに参加するケースが多いので、今後も広く周知できるよう情報発信に努めていく。

状況を示す写真や資料等



福島民報 平成30年4月17日



福島民報 平成30年4月25日



福島民報 平成30年10月19日



福島民友 平成30年8月19日

項目

観光入込客数の推移について

計画に記載している内容 歴史的風致の維持向上を図ることで、町民の意識が向上し、観光を中核とした交流人口の増加が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

旧伊達郡役所入館者数 平成26年度4,723人、平成27年度8,881人、平成28年度10,256人、平成29年度5,594人、平成30年度10,397人
 桑折西山城跡来場者数 平成26年度307人、平成27年度405人、平成28年度370人、平成29年度486人、平成30年度804人
 そのほか、旧伊達郡役所カフェや桑折まちなか歴史探訪、半田山山開き、ふくしまバーガーサミット、こおり満福まつり、西根堰ウォーク、種徳美術館に「コードF」等のスタンプラリーのスタンプ設置などを行い、交流人口増加の試みを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
 ■計画の進捗に影響なし

企画展開催や史跡整備が進んだことにより、施設への来場者数は増加しているが、スタンプラリーのスタンプ収集目的だけの来場が、その時期の入館者数増の要因となった一面もある。たまたま立ち寄った来場者にも魅力を感じてもらえる施設となるような活用方法を検討したい。

状況を示す写真や資料等



「(献上桃の郷)魅力発信プロジェクト 旧伊達郡役所カフェ」 平成30年10月27・28日 来場者約400名

カフェのほか、旧伊達郡役所内でプロによるアンサンブルコンサートと、建物内部や歴史について解説するガイドツアーを開催



本丸の遺構整備ができあがった史跡桑折西山城跡



上: 2018ふくしまバーガーサミットin桑折
 下: こおり満福まつり2018



桑折町の観光入込客数の推移

平成28年度 135,282人
 平成29年度 114,240人
 平成30年度 146,991人

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称：桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時：平成31年4月23日 午後1時30分～午後3時45分	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・景観行政団体への移行と景観計画策定に関する事業は、計画期間の後半になりすぎないように進めてほしい。 ・史跡桑折西山城跡への道がわかりにくいので、外から来た人がわかりやすく行けるような案内標示をしてほしい。 ・桑折宿の修景でブロック塀の色の塗り替えを考えているようだが、都市整備の面から耐震対策を考えたものとしてほしい。 ・学習指導要領が変わったので、こども教育課と学校と連携し、小中学生の町の歴史に対する認識向上に努めてもらいたい。 ・講演会等ではアンケートを取って、過去のデータから次に活かすことができるように基礎データ作りをしておくとい。 ・文化財看板の文面は作成したら担当課だけでなく、委員会や審議会で内容をチェックしてもらおうとい。 ・歴史案内人の育成は今後も継続した取組が必要である。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・関係する課との連携を密に事業の推進をしていく。 	